

受 験 番 号						氏 名	

2023年度
 放送大学大学院博士後期課程
 文化科学研究科 文化科学専攻
情報学プログラム
 筆記試験問題（英語読解試験）

試験日：2022年10月1日（土）

試験時間：9時30分～11時30分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この試験問題冊子は開かないでください。
2. 解答には、黒鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
3. 配付されるものは、「試験問題冊子1冊」、「解答用紙2枚」及び「下書き用紙2枚」です。追加配付はしません。
4. 試験開始の合図の後、試験問題冊子を確認してください。試験問題冊子は、表紙、白紙、問題（4ページ）の順に綴じられています。試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙に落丁・過不足のある場合、あるいは印刷が不鮮明な場合には、手を挙げて試験監督員の指示に従ってください。
5. 試験問題冊子の所定欄に、受験番号及び氏名を記入してください。
6. 解答用紙の所定欄に、プログラム名、氏名、受験番号及び解答用紙の何枚目であるかを、解答用紙別に必ず記入してください。
 小問題及び選択問題がある場合、解答する際の番号の記入箇所は、解答用紙のマス目の外としてください。
 なお、問題文中に別途記入方法の指示がある場合はそちらに従ってください。
7. 解答用紙1枚につき、1,000字まで記入することができます。解答用紙2枚のうち、人文学プログラムは1枚以内で解答してください。指定された字数に従って解答してください。
8. 試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を綴じているホチキス針をはずしたり、中身を破り取ったりしてはいけません。
9. 試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙は試験終了後に回収します。試験問題冊子及び下書き用紙に解答を記入しても採点の対象にはなりませんので、必ず解答用紙に解答を記入してください。
10. 試験時間は2時間です。試験開始後40分を経過した後は、試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を試験監督員に提出した上で、退室してもかまいません。ただし、試験終了5分前以降は退室できません。

筆記試験問題（英語読解試験）

以下の英文を読んで、下の設問(1)～(5)に全て答えなさい。なお、設問の番号を解答の冒頭に記すこと。

（この部分につきましては、著作権の関係で公開できません。）

（この部分につきましては、著作権の関係
で公開できません。）

（この部分につきましては、著作権の関係
で公開できません。）

(この部分につきましては、著作権の関係で公開できません。)

出典 : Jennifer Nagel, *Knowledge: A Very Short Introduction* (Oxford University Press, 2014) による。

- (1) 下線部(1)の “this feature of ‘knowing that’ ”とはどのような特徴か。本文に即して 80 字程度の日本語で説明しなさい。
- (2) 下線部(2)の “The verb ‘think’ is *non-factive*”とはどのような意味か。本文に即して 80 字程度の日本語で説明しなさい。
- (3) 下線部(3)の “Protagoras’s relativist theory of knowledge”とはどのような理論か。本文に即して 150 字程度の日本語で説明しなさい。
- (4) 下線部(4)の “objective truth”とは何か。本文に即して 80 字程度の日本語で説明しなさい。
- (5) 全体の論旨を 200 字程度の日本語で要約しなさい。